

【科目名】生活環境論		【担当教員】永松一真						
【授業区分】専門分野 (地域作業療法学)	【授業コード】 4-24-0960-0-1	(メールアドレス) nagamatsu@nur05.onmicrosoft.com						
【開講時期】2年次 後期	【選択必修】必修	(オフィスアワー)						
【単位数】2 単位	【コマ数】15 コマ	火曜～金曜 (8:30 ~ 18:00)						
【注意事項】(受講者に関わる情報・履修条件)								
・講義内容によって教室が変更になるので案内をよく確認すること。								
(受講のルールに関わる情報・予備知識)								
・事前に教科書を熟読しておくこと。・欠席した場合、講義内容を各自で補うこと。								
【講義概要】								
(目的) ・対象者の日常生活活動や生活環境を評価し、適切な日常生活活動の方法および生活環境の整備に対する提案が行えるようになる。								
(方法) ・在宅障害者や高齢者をより豊かにし、自立生活を送るために必要な適切な日常生活活動の方法および家屋改修についての原則と注意点を学習する。在宅障害者や高齢者の特性および家屋改修の基礎を講義で行い、実践例の紹介を通じて、家屋改修の評価や提案を行う。								
【一般教育目標(GIO)】								
・日常生活活動の概念が分かり、障害に応じた日常生活活動の関わりを理解する。								
・障害の特徴を踏まえた家屋改修を理解する。								
【行動目標(SBO)】								
・日常生活活動の代表的な評価方法を用いて、対象者を評価し適切な介入ができる。								
・対象者を取り巻く家屋環境を評価し、必要な家屋改修の提案ができる。								
【教科書・リザーブドブック】								
・木乃瀬 隆編集、日本作業療法士協会監修、作業療法学全書[改訂第3版] 第10巻 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備、協同医書出版社、¥3,000 (税別)								
【参考書】								
・編者・原 和子ら、実習 ADL / APDL [学生のためのワークブック]、協同医書出版社、¥3,500 (税別)								
・伊藤利之ら編集、新版 日常生活活動(ADL) 評価と支援の実際、医歯薬出版、¥6,800 (税別)								
【評価に関わる情報】								
(評価の基準・方法)								
・成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。								
・試験および参加態度の割合で総合的に判定する。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	参加態度	合計
総合評価割合	40	0	0	50	0	0	10	100点
評価指	取り込む力・知識	20		10				30
	思考・推論・創造の力	20		10				30
	コラボレーションとリーダーシップ			10			5	15

平成 26～28 年度入学者用

標	発表力				10				10
	学修に取り組む姿勢				10			5	15
【授業日程と内容】									
回数	講義内容			授業の運営方法	学修課題(予習・復習)			時間(分)	
1 9/29	オリエンテーション 住環境整備について①			講義	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
2 10/6	住環境整備について②			講義	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
3 10/13	福祉用具総論 福祉用具の導入方法など			講義	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
4 10/20	福祉用具の適応 起居動作、移乗、姿勢について			講義	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
5 10/27	移動：車椅子、杖、歩行器 日常生活活動・日常生活関連動作（1）			講義	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
6 11/4	入浴、更衣、整容、排泄など 日常生活活動・日常生活関連動作（2）			講義	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
7 11/10	疾患別の福祉用具利用例 脊髄損傷、脳血管障害			講義	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
8 11/18	疾患別の福祉用具利用例 進行性疾患			講義	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
9 11/18	高齢者体験キットを用いて環境整備の重要性を学ぶ。各種福祉用具の導入・使用体験。			演習	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
10 12/2	高齢者体験キットを用いて環境整備の重要性を学ぶ。各種福祉用具の導入・使用体験。			演習	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
11 12/2	高齢者体験キットを用いて環境整備の重要性を学ぶ。各種福祉用具の導入・使用体験。			演習	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
12 12/8	高齢者体験キットを用いて環境整備の重要性を学ぶ。各種福祉用具の導入・使用体験。			演習	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
13 12/9	高齢者体験キットを用いた演習を通じての学びを発表する ①			発表、討論	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
14 12/15	高齢者体験キットを用いた演習を通じての学びを発表する ②			発表、討論	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	
15 12/16	高齢者体験キットを用いた演習を通じての学びを発表する ③			発表、討論	予習：次回単元の教科書などを読んでおく。			30分	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。